

2026 年 1 月 29 日
株式会社スマートバリュー

スタジアム・アリーナが拓くまちづくりの新形態をテーマとした オンラインセミナーを開催しました

株式会社スマートバリュー（本社：大阪府大阪市、取締役兼代表執行役社長：渋谷 順）は、株式会社 One Bright KOBE および株式会社ストークスと共催で、2026 年 1 月 15 日（木）に無料オンラインセミナー「地方創生の本命！スタジアム・アリーナが拓くまちづくりの新形態」を開催しました。

JTQ 株式会社・代表の谷川じゅんじ氏、サイボウズ株式会社・代表取締役の青野慶久氏、株式会社日本政策投資銀行・調査役の早川琢雄氏をゲストにお招きした本セミナーは、全国から 287 名の方々にご参加いただき、日本各地で進行するスタジアム・アリーナ計画に対する注目度の高さが改めてうかがえる結果となりました。



・開催の背景

現在、日本各地でスタジアム・アリーナの建設や計画が相次いでおり、欧米では先行していた「スポーツ・エンターテインメントを核としたビジネスモデル」がようやく日本市場にも浸透し始めています。これまで日本のスポーツ・エンターテインメント領域は、欧米市場と比較して過去 30 年の成長率で大きく後塵を拝してきました。しかし、本格的な人口減少時代に突入する今後 50 年において、これらの施設がどのように市場を活性化させ、「地方創生の本命」としての役割を担えるかは、極めて重要な局面を迎えています。

本セミナーは、こうした時代背景を踏まえ、スタジアム・アリーナを軸としたまちづくりの可能性について考察することを目的として開催されました。

・登壇者による講演とパネルディスカッション

【登壇者と講演内容】

■ Resonant Stadium – 共鳴するスタジアム・アリーナが都市を動かす JTQ 株式会社 代表 谷川じゅんじ 氏

国立競技場民営化の取り組みを事例として、スタジアム・アリーナを単なる「ハコもの」ではなく、都市 OS「ハブもの」として捉えることや、文化・人・経済が循環する中心に、スタジアム・アリーナがある状態を目指す重要性などについてお話しいただきました。

■ スポーツ/アリーナで目指すチームワークあふれるまちづくり サイボウズ株式会社 代表取締役社長 株式会社エヒメスポーツエンターテイメント 取締役会長 青野慶久 氏

プロバスケットボールチーム「愛媛オレンジバイキングス」を子会社化し、スポーツビジネスに参入した経緯についてや、実際の取り組み内容、アリーナ建設計画と今後の課題などについてお話しいただきました。

■ 日本のスポーツビジネスの可能性とスタジアム・アリーナの価値 株式会社日本政策投資銀行 産業調査部 調査役 早川琢雄 氏

金融の最前線から、スポーツ分野に注目し始めた経緯や、欧米諸国と日本のスポーツ産業の比較と今後目指していくべき姿についてお話しいただきました。

■ スタジアム・アリーナ 4.0！スマート・ベニュー神戸モデルの実現 株式会社スマートバリュー 取締役 兼 代表執行役社長 株式会社 One Bright KOBE 代表取締役社長 株式会社ストークス 代表取締役社長 渋谷順

これまでのスタジアム・アリーナの歴史と、これから当社が目指すスタジアム・アリーナ 4.0 の世界観について説明し、当社が掲げるミッションや GLION ARENA KOBE での具体的な取り組みについてお話ししました。

■ パネルディスカッション

パネルディスカッションでは「スタジアム・アリーナが変えるまちの未来像」「官民連携とビジネスモデル（リスクと採算）」という2つのテーマを設定し、登壇者それぞれの視点から議論を展開しました。

また、ディスカッションの中では、ウーブン・バイ・トヨタ株式会社の望月裕貴氏にも飛び入りでご参加いただき、トヨタが「トヨタ・ウーブン・シティ」という実証実験の街を創るに至った経緯や実際の取り組み等についてお話しいただきました。

・開催結果と参加者の反応

当日は、自治体関係者、デベロッパー、都市開発関係者、スポーツビジネス関係者など、幅広い層から287名の方にご視聴いただきました。

【参加者の感想（抜粋）】

- ・市場の概況、スタジアム・アリーナの哲学と実際の事例、これからスタジアム・アリーナに取り組む方と、様々な視点から生の声を聴けて参考になった。
- ・神戸をはじめ、各地域がますます元気になる非常に有意義な取り組みであり、今後の活躍に期待したい。
- ・まちづくりに関わるたくさんのひとのつながりや様々な視点を知り、それぞれのパネリストがどう考えアプローチしていくかが大変興味深かった。
- ・自身に関わる街の事業者とエンターテインメント／スポーツをどう接続するかについて解像度が高まった。
- ・こういう熱い思いを持った人たちが地域社会を盛り上げていくのだなと思った。
- ・まちづくりにおけるアリーナ（ベニユー）の再定義を考える機会になった。
- ・スポーツ施設の可能性と継続的ファンの作り方、街づくりの在り方が勉強になった。

・総括

本セミナーを通じて浮き彫りになったのは、これからのスタジアム・アリーナが真の地方創生を成し遂げるために、「運営者自身が地域まちづくりの主体者」へと進化しなければならないという点です。

またスタジアム・アリーナが、まちの OS となり、ここに集うすべてを IP と見立てたプラットフォームとしての役割を担うことも提唱されました。

近年のビジネスシーンではデジタルを武器に広いマーケットを取りに行くことが当たり前になっていますが、スタジアム・アリーナを軸としたまちづくりにおいては、その土地に深く根差し、誰よりもその地域に対して愛情を持って、持続可能なプラットフォーム形成の原動力となることを、今回の議論を経て確信いたしました。

当社は今後も、TOTTEI／GLION ARENA KOBE での挑戦を通じ、地域を愛し、地域と共に歩むことで、次世代に誇れる「新しいまちづくりのカタチ」を神戸の地から世界へ体現してまいります。

株式会社スマートバリュー 会社概要

名称	株式会社スマートバリュー
代表	取締役兼代表執行役社長 渋谷 順
所在地	大阪市中央区道修町三丁目 6 番 1 号 京阪神御堂筋ビル 7 階
設立年月	1947 年 6 月
資本金	1,044,944 千円（2025 年 6 月末現在）
上場市場	東証スタンダード市場（証券番号：9417）
事業内容	クラウドソリューション事業
公式 HP	https://www.smartvalue.ad.jp/

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社スマートバリュー 社長室 Division 大門・松山

TEL：06-622 7-5577 MAIL：info@g.smartvalue.ad.jp

お問い合わせフォーム：<https://www.smartvalue.ad.jp/contact/>